

平成 28 年 10 月 1 日

第 54 回日本癌治療学会学術集会 プレイベント

「がんジュニアセミナー in 前橋」を開催しました！

平成 28 年 10 月 1 日(土)に、群馬県前橋市の群馬大学昭和キャンパス内・ミレニアムホールで、第 54 回日本癌治療学会学術集会のプレイベントとして、「がんジュニアセミナー in 前橋」が開催されました。

本セミナーは群馬県在住・在学の小学 5・6 年生を対象に、「がんとうがん治療の最先端を見に行こう！」をテーマとして、がんとうがん治療に関するミニレクチャーと、重粒子線がん治療施設の見学会を行いました。

当日は朝から小雨のちらつく中でしたが、59 名の小学 5・6 年生が参加してくれました。さらにそのご父兄にも聴講して頂きましたので、セミナー全体では 126 名ご来場いただき、非常に盛会となりました。



中野会長を囲んで、ぐんまちゃんと一緒に記念撮影しました！

レクチャーでは、「がんとがん治療の総論」「がんの外科療法」「がんの放射線治療」「がんの画像診断」を軸とした、4つのやさしい講義を行って頂きました。

参加者はメモを取りながら、講師の先生方からのクイズに挙手したり、レクチャー後に的を射た質問をしたり、非常に熱心に積極的に講義に参加していました。



講演は以下の4つでした。

1. 「がんってなに？ ～身近な病気、がんを学ぼう～」  
村田 裕人 先生（日高病院 腫瘍センター）
2. 「がん治療 ～がんを退治する方法を知ろう～」  
大曾根 勝也 先生（群馬大学大学院 病態総合外科）
3. 「がん放射線治療・重粒子線治療  
～がんをやっつけるビームがあるってホント！？～」  
入江 大介 先生（群馬大学大学院 腫瘍放射線学）
4. 「体の中までよく見える？ ～画像診断ってなんだろう～」  
松田 吉裕 先生（群馬大学大学院 放射線診断核医学）



村田裕人 先生



大曾根勝也 先生



入江大介 先生



松田吉裕 先生

その後、群馬大学重粒子線医学センターへ移動して、重粒子線がん治療施設の見学を行いました。治療室や、普段は見ることのできないシンクロトロンを近くで見学し、また医学物理師の先生方から施設内の各所で説明を受けました。こちらでも参加者の真剣に説明に耳を傾けている姿が印象的でした。



セミナーの最後に、第 54 回日本癌治療学会学術集会会長である中野隆史教授から、参加者全員に修了証「未来のがん博士認定証」と記念品が贈られました。



第54回日本癌治療学会学術集会の3日目(10月22日)には、「小学生からのがん教育」をテーマとしてUICC日本委員会・日本癌治療学会合同シンポジウムが開催されます。また群馬県も、がんについての正しい情報をわかりやすく伝えるために小学6年生全員にリーフレットを配布し、がんという病気を正しく理解してもらうために取り組んでいます。小学生からのがん教育は、社会全体でがんに向き合う上で喫緊の課題といえます。

そうした時節の潮流に適った、あるいは、『がんサポート社会』作りの将来を担う子どもたちのがんとがん治療に興味を持ってもらい、共により良いがんをめぐる社会環境の創生に取り組むきっかけとする。」という本セミナーの主旨に沿った実践として、大変有意義な企画になったと確信しております。

最後になりますが、ご来場いただきました参加者ならびにご父兄の方々に厚く御礼申し上げます。また、本セミナーの開催・運営にご協力いただきました、講師の先生方、施設見学会の担当者、ならびに群馬大学腫瘍放射線学講座の大学院生に感謝申し上げます。こうした小さな取り組みが未来に花開く種となることを願ってやみません。

平成 28 年 10 月 吉日

第 54 回日本癌治療学会学術集会

会長 中野 隆史  
企画担当 清原 浩樹